

はばたけ

第64号

2004年2月22日発行
栃木障害者の自立をめざす会
事務局：栃木市大光寺町347-2

関谷 清一

TEL 0282-29-6111

私達は障害者が地域の人々とともに生き生きと生活していける「村づくり」を進めています。

自立の会会長 あいさつ

栃木障害者の自立をめざす会 会長 関谷清一

新年あけましておめでとうございます。

早いもので私が会長を務めさせていただいて9か月が過ぎました。

その間、絵画展など大きなイベントもあり皆様のご支援、ご協力のもと成果をあげることができました。深く感謝申し上げます。

ここ1～2年は、念願でありました社会就労センターゆうの家、デイサービスセンターなすびの里も開所され、やっとできたという安堵感のなか運動が停滞気味です。

今年はイベントもさることながらもうすぐ栃木障害者の自立をめざす会発足20年を迎えようとしています。その自立の会の最終目的である「障害者の村づくり」構想に向けて会員の話し合いの充実化をめざし、今求められている具体的な目標を決め、その実行にむけて少しでも前進できるよう頑張っていきたいと思います。

ボランティアさんによる
うたと踊りの披露に
仲間達は大喜び



クリスマスパーティー

小島 幸子

昨年12月14日(日)に恒例のクリスマスパーティーをなすびの里で行ないました。相変わらず当日まで何人来るかわからないという準備不足にもかかわらず多くの人が参加してくれました。かなり細めのサンタクロースからのプレゼントにみんな大喜び!!子どもの付き添いで来たはずなのに...養護学校のお母さんも急遽の料理作りに快く応じてくれました。ひそひそ声聞こえました。「今度はエプロン持参で来たほうがいいわね」...

『よろしくね』(私の心の声)



今回は男性陣が活躍してちよいと大人風の料理が多く、すごくおいしかったです。でも足りなかったぞ～。やっぱり私が必要でしょ!!

某市保健福祉部長を中心としたうたや踊りのアトラクションでみんな乗り乗りで楽しそうだったなあ。今度はもっと念入りに準備してと毎年同じ反省で終わってしまうクリスマスパーティーです。

妙唱寺大黒天

1月17・18日例年になく好天に恵まれたなか、妙唱寺大黒天に参加しました。いつものお父さん達に加え、今回からグループホームのメンバーが新たに加わりにぎやかなおまつりになりました。石崎さんや渡部施設長がうどんを打ったり、横塚さんがお客さんにうどんを提供したり、川俣さんが製造と販売の間を行き来したりとそれぞれが自分の力を発揮してくれました。

売上げも昨年までに比べて断然多かったです。

今回食べてくださったお客さん、お味はいかがでしたか?

2003年11月以降の事業収入及び 会員の状況

事業収入

2003・11・2	ふれあいのつどい	123,723
2003・11・14	とちぎ秋まつり	68,448
2003・11・21	生協まつり	20,000
2004・1・17・18	妙唱寺大黒天	29,050
	冬の物品販売	147,473

ダンスパーティーについては、決算の途中です。

会員の状況

	2003・3月末	2004・1月末	増減
会員	71	78	7
賛助会員	67	68	1
協力会員	130	141	11
合計	268	287	19

今年度は、養護学校等の保護者の方が多く会員になって下さいました。その反面長年頑張ってくださった方の退会も目立っています。また、転居後の住所が不明で郵便物を届けることができない会員の方もいらっしゃいます。

転居された方は是非事務局までご連絡をお願いいたします。



第8回 ふれあい大好き

チャリティー

ダンスパーティー



小島 幸子

今年は、バレンタインデーの2月14日（土）に行ないました。ちょっと人数が少ないかなあ……でも踊る人にはちょうどいいスペースだったみたいです。（負け惜しみ）

初々しい司会も好評でした。車いすダンスも練習の成果ありましたね。

何の行事にしても施設建設前の熱気が少なくなっていました。でも、養護学校から出てくる子ども達は毎年毎年減ることはないのです。かく言う私も養護学校に通う子どもの親。「養護学校でお勉強して立派な大人になってなすびの里で働くんだよ」子どもがわかってもらわなくても私は子どもに言いつづけます。それは自分に言い聞かせていることでもあります。

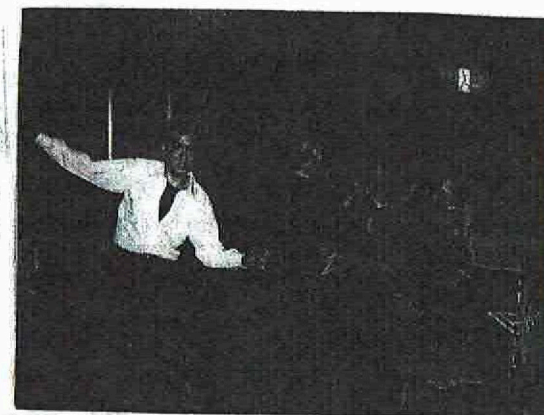
皆さん一緒に手を取り合いましょう。1人じゃできないことなんです。

先にも書きましたが、当日はバレンタインデーということで、会場のあちこちでチョコレート
のプレゼントが飛び交っていました。

男性軍、3月14日にはお返しを待っていますよ！！



石崎さんとはる
恵さん親子の車
いすもダンス



もちぎまつり

昨年11月14日から3日間栃木秋まつりが開催され、自立の会も恒例の「もち」と新メニュー「からあげ」で3日間出店しました。2年前の大成をふたたびと期待して臨んだのですが、人出が非常に少なく大変苦戦してしまいました。2年前は、大通りまで立錐の余地もないほどの人出だったのに、今回は出店した会場の前ですらたまにしかお客さんが通らないという状況の中、声を張り上げた金太郎飴さんの前で売らせてもらったりとみんなでがんばりました。からあげは好評で仕入れた分の材料が1日目で売り切れてしまい、近くの鶏肉屋で50キロ追加して仕入れるほどだったのですが、もちの売れ行きがさっぱりでした。原因は、自立の会を含めてもちを売っている団体が4つもあったこと。狭い会場の中あちこちで「もちはいかがですか〜」という掛け声が、なかばやけそそ風味にこだましていたのです。「もちは自立の会の専売特許なのに」と思いつつ負けじと声を張り上げていました。

収益は、寂しい結果となってしまいましたが、これに懲りずに次回がんばりましょう！お手伝いいただいた会員の皆さん、仲間の皆さん、職員の皆さん大変ご苦労様でした。

生協まつり

秋まつりの翌週、11月22日国分寺町にある尼寺でよつば生協まつりが開催されました。なすびの里が地域福祉交流事業として参加している団体からの呼びかけでした。

施設では、土曜日・職員会議の日だったので、自立の会でパンの販売を請負い、同時にわたあめもちやっさり販売しました。関谷会長と飲み友達のT氏が参加、施設からもパン担当職員とグループホームの利用者が参加しました。

生協といえば、小さなお子さんを持つお母さんが、子ども達に安全な食生活を…ということで、当日もお子さんを連れたたくさんの若いお母さんを中心に多くの参加者があり、わたあめは最初から最後まで全く休む間もなく作りつづけたようです。今までで最高の売上げでしたが、何しろ1本100円ですからいくら頑張っても3〜4時間での売上げ金額は高が知れています。それでも、大きなわたあめを手にして嬉しそうにしている子ども達の顔をみるとこちらも嬉しくなってきます。

“無添加”なすびの里パンも好評で全部売上げましたが、西日をあびてパンの袋が汗をかいてしまい何人かのお客様からは苦情も寄せられました。いつもそうですが、屋外で販売する時は袋の中が汗をかいってしまうので、何とかならないのかなあ？（どうにもならない事です）と思います。

ふれあいのつどい

実行委員 川俣慎康

昨年11月2日、第17回栃木市ふれあいのつどいが、開催されました。

ふれあいのつどいを謳っているのに毎回模擬店が幅を利かせ、点字コーナーや手話コーナー、盲導犬、昔の遊びなど、本当はもっとみんなに知ってほしい体験コーナーが小さくなっていましたが今回は、体験コーナーをもっと地域の皆さんに知ってもらえるような会場設定をしました。

自立の会では恒例の餅つき、ポテトフライ。施設ではかけうどんがあつという間に売り切れてみんな大喜びでした。

11月、小春日和の有意義な1日でした。



綿あめにも新しい
仲間ができました

恒例のもちつきです！



会費納入のお願い

本年度の会費が未納の会員の方は、納入いただけますようお願いいたします。会費の納入は、直接事務局または役員にお渡しいただくか、同封の振込用紙にてお振込みください。よろしくお願いいたします。